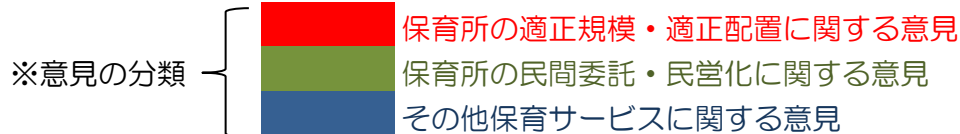


# 中野市保育所あり方検討懇話会 第5回までの経過



第1回 令和2年2月19日

## ○懇話会について

正副会長の互選について  
要綱及び懇話会設置の趣旨について  
懇話会の趣旨

- 少子化、保育ニーズ等の課題を抱える保育所運営について協議、提言をいただく
- ・施設の老朽化、少子化等を踏まえた、保育所の適正配置・適正規模
  - ・保育所運営の民間委託、民営化
  - ・保育サービスの充実に向けた保育士の確保等

## ○現状について

以下を資料を用いて説明

- ・施設の整備経過
- ・少子化に関する経過

## ■発言・意見等

- ・私立の建設問題も加えてもらえるとありがたい。
- ・長丘保育園が開いたのに、なぜひらおか保育園が現地建替えになったのか見通しとしてどうなっているのか
- ・待機児童の現状、保育士の不足など内部事情を教えてください。
- ・定員を満たしていないのになぜ待機児童がでたのか。

第2回 令和2年7月13日

## ○データやアンケートの結果から見た中野市の現状（保育ニーズ等）について（保育課資料及び第2期子ども・子育て支援事業計画から）

- ・0～5歳の子供の数は減少を続けているが、入所児童数は横ばいであり、0～2歳の子を預ける割合が増えている
- ・働く女性が増え、就労形態の多様化等で、保育需要が高まっていると同時に、ニーズの多様化に伴い延長、休日といったサービスが求められている。
- ・保護者の意見、保育ニーズの把握が必要ではないか。

## ○保育所のあり方に関するアンケートの実施について案を説明。

## ○施設整備計画、過去の提言書について概略を説明。

## ■発言・意見等

- ・提言書、施設整備計画の最大定員210人を見た場合、現在の長丘とひらおかを合わせるといったことが今後起きるのか、長丘保育園は新しくなるのか。（現時点では、わからないと回答）
- ・アンケートの間における混合保育について、異年齢保育を積極的に取り入れている園も多い。どういう保育をするかが大切であって、混合保育がいい、悪いの問題ではない。異年齢保育がいいかどうか聞かれても、保護者は困るのではないか。
- ・保育の内容についてアンケートを取るの、今回の適正規模・適正配置の意図からすると、趣旨が違うと思う。

## その他

- ・現場の声として、子ども同士の関わり合いといった観点からすると、人数の大小に関しては、いろいろである。大きい園の良さもあるが危険もある。小さければドッチボール等が楽しめないといったこともある。

(次ページへ)

- 統合した学校の近くに保育園を持っていけば、保育園と学校もつながって、一緒に学習できるような体制が整えられれば、地域にとっても良いと思う。  
長丘は子どもが減ってきていることもあるので、近くにある新しいひらおか保育園に統合してもよいのでは。
- 民営化した場合の補助金について質疑、応答  
私立も老朽化しているので、私立に0歳児補助のような物があればよいと思っている。

第3回 令和2年8月19日

### ○保育所現地視察

平野保育園、高丘保育園、豊井保育園、永田保育園、長丘保育園、ひらおか保育園  
たかやしろ保育園、松川保育園

(いくつかの園で園長から園の現状、保育に関する実感を聞く)

- 広いクラスに少人数でいることは安全ではあるが、かかわりも少ない。  
ともに育ちあうという観点からは10人以上のクラスが好ましい。
- (少人数の場合) 活動が制限されてしまったり、他の担任の協力により、年長だけの活動など、職員の体制と子どもの様子で保育を行っている。  
子どもが少なくなり、園舎も古くなってきているが、保護者から統合といったような意見は今のところない。
- 仲間になったり、助けてあげるといった経験は、30人いるといいと感じる。  
未満児は人数が少ない方がよいと思う。
- 小学校に上がるときは、今と同じ仲間で行けるといところがよかった。

### ■発言・意見等

- 地域の方にとっては、地域から子どもの声が消えるってことはすごくショックなこと。いろんな点で反対意見もある。  
しかし、今思い切って、小学校を一緒にしたこのタイミングで統合というのも、小さな子供達を一緒に伸ばしてやりたい、うまくつなげてあげたい、そういうことを提案するチャンスでもあると思う。
- 各保育園の所在を知らずにいたが、視察ができてよかった。  
豊井・永田保育園は小学校合併のタイミングであるこの機会に合併準備に、長丘保は、ひらおかへの編入を。保護者・地元からは今後どうするかとの意見もあるようだが、早めに提案してほしい。  
平野、松川は建替えの方向で。現地以外の場所での建替えが必要と思う。
- 施設が新しい、古いいろいろあるが、当然のことであり、新しい方がよいというものでもない。古い施設でがんばっている保育士さんにも目を向け、保育の質を高めることにも予算がまわっていくとよいと思う。
- 統合に向かった場合は、地域の願いや子供達の育ちを大切に、つなげて残していくことを大前提に据えたい。(木造の園舎・メタセコイヤの木を残すなど)  
閉園となった場合の施設の有効活用は、地域が考えて運営を任せていくということも考えられるのでは。
- 永田保育園、人との関わりが大切になっていくことや、子供達の育ちを思うと、豊井保育園との統合が必要になっていくと感じた。

(次ページへ)

○講話：アンケートの自由回答から見た課題について

(長野県立大学 健康発達学部(子ども学科)教授 太田光洋先生)

- ・アンケートの記載内容から気になったもの等の紹介、経験からくる園児の好ましい人数や、クラス編成に関すること、統廃合・民営化に関するメリット、デメリット等について講話

○講話、アンケートの自由意見を踏まえた協議

■講話の概要

- ・適正規模の良し悪しについて、明確な決まりはない。
- ・経験上の好ましい集団の数は120人程度。多くても150から160。  
4～5歳クラスだと26人位までの実感、年齢がさがれば人数は減ったほうがいい。
- ・同じ年齢同士でお互いに刺激しあうなどの経験がある。あまり人数が少ないと人間関係が固定化してしまうことも。
- ・少人数の混合保育は下の子のために我慢したりといったこともあるが、どう考えるか。良い所悪いところがあり、運営方法に工夫をする園がある。
- ・保育園はある程度、保育に関する均一性を保つべき。民間の保育園が多くなりすぎ、特色がありすぎると、希望の園に入れなくなる可能性がある。公立が地域のスタンダードの役目を果たす。公立でないといけないこともある。
- ・統廃合のメリットとしては、集団規模によって育ちあえる環境ができる。  
人の配置の自由度も上がる。
- ・統廃合のデメリット：園が遠くなる、大きな園に対する環境変化への不安、一人一人に目が行き届くかどうかという不安等がある。人数が多くなっても目が行き届くことなど、不安を取り除くことが必要。  
(次ページへ)
- ・民営化のメリット 市の財政負担減、保育に関する選択肢の増、既存園への刺激や、異動によって先生が変わることが少ないなど
- ・民営化のデメリット 経営者の方針による保育方法の違い、営利目的からくる事業の継続性などがある。
- ・保護者の役割も認識してもらいべき、低年齢児に自分で育てるといった選択肢も。子育て支援の充実も必要ではないか。

■発言・意見等

- ・小中校の学校で、少人数化の話が出ている。その中で4・5歳児を30人というのはどうか。適正規模に関しては、クラス編成の適正規模で考えるべきでは。
- ・国からのお金も、30人で一クラスとなれば、当然人数によって、運営費の持ち出しが発生する。適正規模を考える上で重要ではないか。
- ・通っている園によって、小規模でいい、大きい方がいいといった二通りの意見に分かれる。少子化の中で、今の保育園は数が多すぎるということをどう説明するか、民営化をなんとなく幼稚園と勘違いしている方もいる。説明が必要だと感じている。
- ・民営化についてメリットとなること、デメリットとなることを説明し、デメリットについてどう対応するのか説明することが必要。環境の変化に対する抵抗を聞く、感情を受け止めるといったことが必要で、時間がかかると考える。
- ・働き方に係らず、園児が在籍できる、幼保連携認定こども園も方法の一つでは。

(次ページへ)

- 民営化による運営費のゆとりについては、実感がわからない。施設の老朽化や0歳児のケアについて、私立園に対する市のサポートがもっと必要では。
- ベテランの保育士を正規採用したい。という思いがある。が、費用面の問題がでる。保育内容の充実のためには人さえいればよいわけではない。
- 民間も公立も中野市の保育園として新しくするなら、計画を立てたうえで（民間と公立の）割合をどうするかという考え方があるといいと思う、
- 延長も臨時保育もできてきた流れのなか、公立のスタンスが、民間に影響をあたえる。公立が維持されることの大切さを感じた。
- 統廃合、民営化に関する不安が自由意見から見える。早い段階で詳しい内容を示し、ケアをお願いします。
- たかやしろ保育園にも余裕があるところで、長丘保育園の検討に入った時に、子供が増える見込みがない。ひらおか・たかやしろへ通うような提言をするタイミングに来ているのではないか。  
市が民営化したいという感じを（保護者が）受けながら、同時に内容を理解されていない部分もある。民営化によりいいことがある、と、具体的な内容を示せる、同じレベルの保育が補償されると説明ができれば抵抗も減るのではと思う。
- 保育士の先生ががんばっていることをもっとPRしては。公立の活性化、私立も含めたレベルアップになるのでは。
- 保護者は情報を求めている。長野市も最初は反対がありました。解決方法を参考にし、また、民営化の説明をどのようにして、保護者の不安を取り除いていくかが大事。
- 保育園を作ってきた、おじいちゃん、おばあちゃんがいる。保護者だけではなく、地域の皆さんに説明するスタンスが大事だと思う。
- 永田小学校の一年生は今4人。ある程度の人数が集まったほうが育ちの面でいいと思う。

（次ページへ）

### ○保育のあり方に関するアンケートの集計結果について

- ・回答が多かったものの例
    - 保育園の場所・・・自宅に近い、子供が通う小学校の学区内
    - 気がかりな点・・・施設の老朽化
    - 拡充を望むサービス・・・病児・病後児保育、年度末・年度初めの保育
    - 集団の規模・・・91人以上120人以下、次いで61人以上90人以下と続く
    - 統廃合の必要性・・・どちらともいえないがほぼ半数となった
    - 統廃合のメリット・・・友達づくり、小学校入学に関することに期待がある。
      - 〃 デメリット・・・保育園が遠くなるが8割。一部の園で地域への密着性に不安
    - 民営化について感じる事・・・各項目どちらともいえないが半数。私立保育所に通っている方から保育サービス向上の回答も。
    - 民営化に期待すること・・・病児・病後児保育、休日保育等サービスの充実、保育の特色に期待。
      - 〃 で不安なこと・・・保育料がどうなるか、保育園ごとの格差
- 統廃合・民営化については、保護者への説明が不足しているのでは。---

### ○民営化のメリット・デメリットについて

運営費、施設整備費用の資料を踏まえての協議

#### ■発言・意見等（アンケート）

- ・統廃合、民営化については、保護者に判断材料がない。
- ・保育のサービスについて、年度末・年度初めの休園をやる自治体は少ないのではないか。病児病後児保育のニーズについて、病気の時は家で見てほしいといったことを出していくことも必要ではないだろうか。
- ・親御さんは、基本的には保育園は近くがいい、そして通う予定の小学校の学区内の保育園に通わせたい、保育サービスのニーズも回答として出てきている。市の方針を提示していくベースができたので、方向性を提示していてもいいのではないか。保育園は遠くなるけど、大勢の中で学べる良さがあるのなら、市として大勢の利点を押していく提言をするといいのでは。
- ・中野市は公立へ通う児童の割合が県内でも高い方なのか。
- ・今使っている予算をそのまま使って保育ニーズにこたえていくようにしないと、保護者の要望・意見に対応できないと思う。民間委託、統廃合したことで、市の財政負担が少なくなるという考え方はやめた方がよい。
- ・今年の登園自粛からクラスの人数が減った実感として、最低基準の30人はひどいと思う。効率化や財政的に助かるという考えは、考え直してほしい。
- ・民営化した分、（市の財政負担が）そのまま減るわけではなく、それを使って今ある園の保育を充実させていくことを一緒に答申として出していくことが必要なのではないかと思う。
- ・中野市は子育てにすごく力を入れている。予算も使って充実しているというような方向性を出していくべきではないか。
- ・病児・病後児保育について、定員が少ないのと、診断書が必要で手続きが面倒。ハードルが高くて預ける選択肢に入らない。実家にも頼りにくくて、自分で何とかしたいと思うときに病児・病後児保育を使いたいという家庭はたくさんあるのでは。
- 発言・意見など（資料：運営費、財源の内訳）
  - ・民営化に伴い、正規の職員が増えるとの話があるが、お金が国から出る部分だけで見ないでほしい。いろんな事情を持つ子供がいる中で、しっかり責任をもつ正規職員を増やせば、それをみんなで分ける、その分給与が低くなるということがある。
  - ・処遇改善の加算などもあるが、加算の決定する時期が不安定なので、4月から給料が上げられない。（次ページへ）

- アンケートの結果をみると、統廃合については気持ちも読み取れるが、民営化については、情報不足の感が強い。  
市が建替えなければならない平野、高丘、松川等についても民営化したいと、民間の人に作ってもらうという方向性は、現時点では出しにくいのではないかと。もっと民営化の良さ、メリットが広がらなければ。
- 市としても皆さんへ説明させていただく機会を設けて、最終的に民営化に行き着くまでは、3年以上かかるのではないかと考えている。できれば早めに方針を出しておかなければ、さらに先に行ってしまう。  
住民への説明が必要なのはもちろんだが、入園の希望に対し必要な方には入っていただくことが第一。財源の工面や統合、民営化を駆使して保育士を確保する。そういったことのために、統廃合・民営化がすすめられるようになればとの思いがある。
- 民間の保育園建設に関しては大変な苦勞があった。国や県からくるお金と、市からくるお金でどのくらい持っていただけるかということが、基本になるのではないかと。（民間による建設で）全て公立で建てるよりはよくなると思うが、民間建設に関してはそういう考えもある。
- （他自治体の例として、用地の準備、補助金の他の支援の例に対し、）  
土地を市が確保してくれることは非常にありがたいことだと思う。